

【本井晴信氏収集文書 解題】

- ・ 本道村文書 1461
- ・ 下百々村文書 1462
- ・ 中島村文書 1463
- ・ 宮口村文書 1464
- ・ 上広田村文書 1466
- ・ 小谷島村文書 1467
- ・ 手島村文書 1468
- ・ 角取村文書 1469
- ・ 吉野村文書 1470
- ・ 中小町商家文書 1478
- ・ 本井晴信氏収集諸家文書 1485 ※数字は資料群番号

元新潟県立文書館副館長の本井晴信氏が収集した文書群である。本井氏は、文書の散逸を危惧し、古書店等に流出していた旧越後国頸城郡関連の文書を自費で購入していた。そのため、各文書の旧蔵者や伝来等の詳細は不明である。

〔手島村文書 資料群番号 1468〕

上越市頸城区手島地区（旧下美守郷手島村）伝来の410点余りの文書群である。手島村は畠ヶ崎村（現頸城区畑ヶ崎）・領家村（現頸城区両毛）・中島村（現頸城区中島）の3つの行政区を含み（現在でも、当該地域では3集落を「三手島」と呼んでいる）、天和三年郷帳では1400石を越える大村であった。本文書群は畑ヶ崎村に伝来したと推定される。

年代的には、1800年代以降、幕末から明治期にかけてのものが多く、質地証文、小作水入証文、金銭貸借証文、冠婚葬祭の記録、土地売買に関わる証書、家計出納簿等の私文書が大多数を占めている。明治以降の村入用や用水割賦帳等の戸長関連文書も若干数含まれる。